

新千里東町地域自治協議会
2013年度総会議案書

日時 2014年5月18日
13時～15時

場所 東町会館2階

新千里東町地域自治協議会

新千里東町地域自治協議会

2013年度総会次第

1. 総会開催のあいさつ

2. 議長の選任

3. 議事録署名人の選任

4. 議案

第1号議案 2013年度事業報告及び収支決算報告並びに
監査報告承認の件

第2号議案 規約改正の件

第3号議案 2014年度事業計画及び収支予算案承認の件

第4号議案 2014年度協議会役員改選の件

※新役員、新理事の挨拶

5. 閉会

第1号議案 2013年度事業報告及び収支決算報告並びに監査報告承認の件

新千里東町地域自治協議会（以下、協議会と略称する）の設立趣意に沿い、「東町ビジョン」実現に向けて、2013年度の協議会事業を展開しました。具体的な活動内容については、協議会全体の総括、理事会報告、各部会・委員会活動報告をそれぞれご参照ください。

※資料 16 頁～36 頁

また、2013 年収支決算については、別紙の収支決算報告書をご参照ください。

※資料 37 頁～38 頁

第2号議案 規約改正の件

現行規約について、規定内容の条文間の矛盾（第9条2項と第11条の役員の任期に係る事項、第11条2項と第9条及び第16条の補欠役員の補充に係る事項）、規定に明記されていない不具合（第29条の理事以外の理事会出席者の権限に係る事項）、並びに規約の規定（第25条及び第33条）が部会・委員会の運営に支障となる事項（部会長を理事に限定する部会の組成に係る事項）があり、これらについて、見直すこととしました。

次に、規約の別表1：代議員対象団体一覧及び別表2：理事会理事対象団体一覧に近々自治会が設置される予定のジェイグラン千里中央を追加する。また、この機会に別表1及び別表2の団体名の表記について表記法の見直しと修正すべき点の見直しを実施することと致しました。以上の規約改正案について資料をご覧ください。

※資料 5 頁～15 頁

第3号議案 2014年度事業計画及び収支予算案承認の件

協議会第3期は、2014年度事業計画として記載の内容を展開予定です。各部会・委員会活動計画と合わせてご覧ください。

※資料 16 頁～36 頁

また、2014年度収支予算については、別紙の収支予算案をご覧ください。

※資料 39 頁～40 頁

第4号議案 2014年度協議会役員改選の件

次の通り 2014 年度協議会役員を選任をご提案いたします。

《2014 年度新役員候補（敬称略）》

役職名	氏名	所属団体名
会長	小川 浩一	OPH新千里東町自治会
副会長	橋本 宏三	ローレルコート新千里東町あかしの丘自治会
副会長	赤井 知之	東丘ダディーズクラブ
副会長	河野 昭一	新千里東町3-3自治会
会計	勝久 恭子	新千里桜ヶ丘自治会
会計	清水 千緋	東丘新聞委員会
監事	上田 稔	元新千里桜ヶ丘自治会理事
監事	桑原 茂樹	前グランドメゾン千里中央東丘自治会理事

新千里東町地域自治協議会設立趣意

私たち、新千里東町の住民と団体は、地域に住まうすべての人々が安全安心に暮らしていける地域づくりを進め、「住んでみたい、住んでよかった、これからも住み続けたい東町」のビジョン実現をめざして、ここに、住民による、住民のための、住民の組織として、新千里東町地域自治協議会を設立します。

協議会は、東町を最も良く知る住民が東町のことについて自分たちで考え、話し合い、ベストを見出し、施策として実施してゆく仕組みです。

また、市の部局間の縦割り行政と全地域均一施策及び東町諸団体の連携不足がもたらすさまざまな弊害に対して、住民ニーズのボトムアップ、連携強化、そしてワンストップサービスを実現する組織でもあります。

設立後は、全ての住民の生活する自治会・管理組合を縦軸に、地域の諸団体を横軸に、それらの全てが参加する組織と、住民のニーズや気持ちを尊重する意思決定が出来る仕組みを構築し、段階的に発展、強化させていきます。

協議会の役割は、次の通りです。

- 東町のさまざまな団体の連絡・相互協力・連携の調整を行う。
- 東町ニーズを把握し、東町の課題を見出すことにより、東町の特性に応じた公共サービスを提供する。
- 東町を代表する、市との連絡調整・協働の窓口となる。
- 基礎的コミュニティ組織(自治会等)の規模では実施困難な課題に取り組む。

東町ビジョン

全体ビジョン	住んでみたい、住んで良かった、これからも住み続けたい東町
子育て	子どもがのびのび育ち、親が安心して育てることができる、それを家庭、地域、学校などが連携して支えるまちづくり
高齢者	高齢者が生き生きと活動し、孤立化しない させない助け合うまちづくり
防災・防犯	住民どうしのコミュニケーションを高め、安全安心に住み続けられ、防災、防犯の意識の高いまちづくり
住環境	みどり豊かな公園、ゆとりある住環境、にぎわう近隣センターで老いも若きも生き生きと活動するまちづくり
情報発信・交流	ていねいな情報発信で知りたい情報がすぐに伝わるまちづくり
担い手	日常のコミュニケーションから信頼関係が生まれ、まちのよさを知り自然と担い手が生まれ、若い世代が参加するまちづくり

2012年(平成24年)4月22日
新千里東町地域自治協議会設立総会

2013 年度協議会活動総括

1. 協議会活動の成果

- ①環境委員会を設置し、東町住民の目線で問題を議論し、その議論の中から結論を導き出し豊中市に働きかける事が出来た。
あかしや橋下の件、桜ヶ丘メゾンシティに越境していた木の剪定は大きな成果だったと思います。
また、まち歩きやこれらの課題の解決策を通じて、問題解決意識が高まった事も成果だと思います。
- ②やる気と熱意にあふれたボランティアの方々がスタッフとして従事してくれた事で地域活動に光明が見えた。
- ③HPが即時対応で更新されるようになり、更新回数も増えた。
- ④防災部会の主導で避難訓練を実施出来た。今回は部会メンバー+αの参加のみだったが、検討課題も見えてきたので、今後はそれらを踏まえて規模を拡大していきたい。
- ⑤また防災部会にて防災備蓄品の購入を進め、東丘小学校体育館地下倉庫と職員室階段下の防災資材倉庫に備蓄する事が出来た。今後は個人、各自治会に啓蒙活動を行うと同時に、自助、共助、公助(各家庭、自治会単位、協議会)の範囲を明確にした上で追加購入を検討していく。

2. 2014 年度以降の課題

- ①理事会の進行方法に改善の余地があり。
部会等の報告は事前にメール添付等で簡略化し、理事会での報告は最低限に留め会議の時間を短縮する。
その代わりに、理事の意見や議論に費やす時間を増やした方がいいのではないか。
- ②高齢化、担い手不足、地域活動への参加低下などの問題は依然残っているが、建て替えが進むにつれ若い年代層の居住者も増えてきた。
今後どうやって地域活動に興味、関心を持ってもらえるかの方策を考える事が肝要だと思います。
- ③住民の間では地域自治協議会の認知度はまだ低いものの、環境委員会での成果は誰の目で見てもわかりやすい成果だと思う。したがってここに力を入れる事で協議会全体の認知度が高まるかもしれない。
- ④HP、掲示板、ひがしおか等、いかに地域住民に告知、周知していくかが今後も課題。
- ⑤協議会の事業実行、担い手である部会編成が担い手不足から、一部の理事、事務局に過度の負担が掛かってしまっている。また会議の顔ぶれがいつも同じで出席者に偏りがある。
- ⑥夏祭り関連の会議は多過ぎたように思う。もっと簡略化しても問題なく開催出来ると思う。
- ⑦いくつかの自治会に於いて孤独死が引き続き発生している。
町全体の課題として、なんらかの対策が必要だと思う。
- ⑧1丁目マンションに於いて自治会活動、協議会活動に参加して頂けるよう、引き続き努力していく。

新千里東町地域自治協議会 2013年度理事会報告

第1回理事会 5月19日

1. 部会・委員会の活動計画

- 2013年度は、昨年度に引き続き、広報部会、まちづくり計画策定部会、防災部会の3部会を設置することとした。
- 夏祭り実行委員会の体制について、実行委員長に小川協議会会長、副実行委員長に同赤井副会長、会計に同濱中副会長が選任された。また、夏祭りは、8月24日(土)に開催することを決定した。

2. 理事会の運営

- 2013年度の理事会は、原則として毎月第3日曜日10時～12時に開催する。6月は、夏祭りについて検討するため、2日(日)に臨時の理事会を開催することとした。
- 事務局長に山田氏が選任された。

臨時理事会 6月2日

1. 夏祭りの実施体制

- 今年の夏祭りは、実行本部、会場設営委員会(委員長;赤井副会長)、模擬店委員会(委員長;濱中副会長)、イベント委員会(委員長;森副会長)の体制で実施する。
- 基本的に昨年度を踏襲する形で実施する。
- 今年は、雨天対策として模擬店用のテントを準備する。

第2回理事会 6月16日

1. 部会の体制と活動計画

- 2013年度の各部会の体制が決まった。

広報部会(部会長・赤井)

- ・広報誌「ひがしおか」の協議会ページの記事作成
- ・ホームページの更新、ホームページ講習会の実施
- ・掲示板の管理

まちづくり計画策定部会(部会長・森)

- ・活動拠点「東町サロン」の設置に向けた検討
- ・東丘版コミュニティ・スクールの検討
- ・要介護高齢者施設の誘致活動
- ・東町の環境に関する課題解決に向けた検討

防災部会(部会長・山地)

- ・防災マニュアル作り

- ・防災まちあるき、防災ラウンドテーブル、防災訓練の実施。

2. 地域活動の拠点「東町サロン」の設置

- 住民や団体の交流、活動の拠点となる「東町サロン」の候補地について5か所の提案があり、今後、それぞれの長所・短所を考慮し、場所の選定を行うこととなった。
- 東町サロンの設置に向けて取り組む実行部隊を結成し、今年10月の運営開始を目標に、検討を進めることになった。

3. その他

- あかしや橋下の車道とローレルコート前の歩道とのT字路で、児童と車両の接触事故があったことから、当面の措置として、カラーコーンとコーンバーの設置を市に依頼することになった。

第3回理事会 7月21日

1. 新設団体から理事が参加

- 2013年度に新設のシティハウス千里中央、グランドメゾン千里中央東丘において代議員と理事が選任された。このほか、ジオメゾン新千里東町シニアクラブ、東町3-3シニアクラブにおいても、新たに代議員が選任された。

2. 地域活動の拠点「東町サロン」について

- 住民や団体の交流、活動の拠点となる「東町交流室」の候補地として、東町近隣センター空きスペースを利用することを決定した。
- 内装等の改修工事や東町サロンの運営体制などについて、まちづくり計画策定部会(拠点整備分科会)で検討を進めることとなった。

3. その他

- 7月15日に実施した「環境まちあるき」により、もみじ橋通りの雑木林の整備、あかしや橋下の道路交通安全対策などの課題を確認した。

第4回理事会 8月18日

1. 地域活動の拠点「東町交流室」の運営

- 住民や団体の交流、活動の拠点となる「東町交流室」の設置について、まちづくり計画策

定部会が中心となって検討している。

○改装費用は圧縮し、協議会の今年度予算の支出費目を一部変更して賄うこととした。

2. 環境整備運営委員会を新たに設置

○まちづくり計画策定部会から、環境に関する業務を担う実行部隊を独立させて、「環境整備運営委員会」を設置する。

○主な役割は、東町の生活環境や自然環境の変化を調査把握、対策案の策定、住民の意見の集約、市の環境担当部門との連絡調整など。将来的に、アダプトロード清掃活動の窓口となることについても検討することとした。

3. 環境整備に関する課題への対応

○7月に実施した環境まちあるきで確認した課題について、9月8日(日)に公開説明会を開催することとなった。

○各自治会から意見を収集し、その結果を参考に、9月の理事会で今後の対応策を決定することとした。

第5回 理事会 9月15日

1. 協議会の運営体制

○環境整備運営委員会委員長に和田氏(PTA)、東町交流室運営委員会の委員長に高野氏(新千里東町会館運営委員会)が選ばれた。

2. 地域活動の拠点「東町交流室」の開設準備

○活動拠点の改修工事を進めている。

3. 環境整備に関する課題への対応

○環境整備運営委員会から、9月8日の公開説明会での意見等をふまえて、課題解決の方向性について提案があった。

○提案に基づいて意見交換し、市に申し入れることを決定した。
内容は環境整備運営委員会報告参照。

第6回 理事会 10月20日

1. 部会・委員会の主な活動状況

○夏祭り実行委員会の反省会などで出された意見から、来年度の実施に向けての検討課題を整理した。今後、各自治会の意見を聴き、解決に向けて検討する。

○まちづくり計画策定部会では、コミュニティ活

性化について話し合い、問題点や課題を整理した。これらについて、各自治会に意見集約を依頼している。

2. 東町の環境改善について市に要望書を提出

○環境整備に関する課題について、9月理事会での検討結果に基づき、10月4日に、市に要望書を提出した。

3. 地域活動の拠点「東町交流室」の開設

○10月15日に「東町交流室」を開設した。開館時間中は、公募のスタッフと協議会事務局メンバーが交代で常駐する。

第7回 理事会 11月17日

1. 夏祭りおよびコミュニティ活性化

○次年度の夏祭り開催に向けての問題と課題、また、コミュニティ活性化のための問題と課題について、各自治会から意見を聴いた。

○夏祭りについては、実施時期や雨天時の対応、模擬店の分担、協賛金のあり方などについて課題が出された。

○コミュニティ活性化に関しては、高齢化による役員引き受け手の不足、セキュリティ強化によりマンション内にどんな人が住んでいるのかわからない、などの意見が出されました。これらの意見をふまえて、まちづくり計画策定部会で、コミュニティ活性化についての検討を進めていく。

2. 部会・委員会の主な活動状況

○広報部会では、理事会や各部会の活動状況、資料等をこまめに更新することにより、ホームページの内容の充実に務めている。

○防災部会は、12月22日(日)10時30分～13時30分に避難訓練を実施する。各マンションから東丘小学校までの避難経路の確認や、防災資機材倉庫の見学、アルファ化米の試食などを行い、東町における防災の課題について考えることとした。

○環境整備委員会では、環境整備の進め方について市と協議を進めている。今後、アダプトロードの清掃業務や、東町公園グラウンドの整備等についての検討も始めることとした。

○東町交流室運営委員会は、貸し室や印刷作

業等の受託などの運営要領を作成した。

3. 東町の環境改善に向けた取組み

- 環境整備委員会では、市に提出した要望書に基づいて市の担当者と現場確認を行い、今後の環境整備の進め方を話し合った。内容は環境整備運営委員会報告参照。

第 8 回理事会 12 月 15 日

1. 部会・委員会の主な活動状況

- 広報部会では、理事会や各部会の活動内容をホームページで発信している。
- まちづくり計画策定部会では、コミュニティ活性化について、各自治会からの意見を聴きながら検討を進めている。
- 防災部会は、今年度の予算で、防災備蓄品（飲料水・保存食等）や防災資機材（無線機等）などを購入する。これらは、東丘小学校体育館下の備蓄倉庫に保管する。
- 環境委員会では、環境整備の進め方について市と協議を進めている。
- 今年度の新春交歓会は、来年 1 月 5 日（日）12 時～15 時に新千里東町会館で開催する。

2. 東町の環境改善に向けた取組み

- もみじ橋通りの雑木林については、雑木林の整備が定期的実施される形をつくっていくよう、引き続き市と協議していく。
- 長谷池の藻の清掃作業は、12 月 1 日に実施し、多くの皆さんにご協力いただいた。

3. その他

- ケーブルテレビ 11 チャンネルの豊中市広報番組「かたらいプラザ」で、地域自治の特集が生まれ、新千里東町の取組みが紹介されると説明があった。
- 12 月から 2 月にかけて、新千里東町の各所（もみじ橋通り、こぼれび通りなど）で、バリアフリー化の工事が行われると説明があった。

第 9 回 理事会 1 月 19 日

1. 部会・委員会の主な活動状況

- 防災部会は、12 月 22 日に避難訓練を実施した。また、防災備蓄品や防災資機材を購入し、小学校体育館下の倉庫で保管するとともに、購入品のリストを作成し、東町交流室に置くこととなった。

に、購入品のリストを作成し、東町交流室に置くこととなった。

- 環境委員会からもみじ橋通りの雑木林について 1 月 20 日から桜ヶ丘住宅に越境している竹等の伐採作業が始まると説明があった。
- 1 月 5 日に新春交歓会を開催し、95 人の参加があった。

2. 規約の改正案の検討

- 次の定期総会に向けて、規約の改正案について検討している。

3. その他

- 赤い羽根共同募金に各自治会の皆さんにご協力いただいた結果、東丘地区では合計 409,536 円集まり、協議会から共同募金会に納入した。

第 10 回理事会 2 月 16 日

1. 協議会規約の改正案を作成

- 協議会規約の改正案を作成した。主な内容は次のとおり。この改正案は、次の定期総会に提案する。
 - ・監事の選任について、前年度の理事に限らず理事経験者から選任できるようにする。
 - ・部会代表者を理事に限定しない。理事は部会の一員として参加していればよいこととする。
 - ・理事が理事会に出席できない場合、その理事の選出団体から代理者を選任することができ、代理者は理事と同等の権利を有することとする。

2. 部会・委員会の主な活動状況

- まちづくり計画策定部会は、新設マンションや自治活動を行っていない既存マンションに、協議会に参加してもらえるよう働きかけていく。また、千里中央地区の商業施設との協力関係を築いていくための方策についても検討する。
- 防災部会は、12 月に実施した避難訓練に基づいて、東町全体の防災体制づくりを進めている。また、カセットコンロや無線機等を購入し、防災倉庫等に保管した。今後、備蓄品や資機材について、個人、各マンション、町全

体(地域自治協議会)が、それぞれ何をどの程度用意しておくのかについても検討していくこととなった。

○環境委員会から、もみじ橋通りの雑木林の桜ヶ丘住宅に越境している樹木等の整備が完了したこと、また、現在、あかしゃ橋下の交差点の原状復帰工事が行われていると報告があった。

3. 自治会・諸団体からの連絡・相談

○公民分館は、3月30日(日)10時から期末運営委員会を開催し、本年度の事業および決算の報告を行う。分館運営委員の出席をお願いする。都合がつかない場合は代理の方の出席をお願いしたい。

○東丘小学校は創立50周年を迎える。平成27年度に創立記念式典などを予定しているが、それらを企画するメンバーを募集し、決定した。任期は26、27年度。
第八中学校創立、並びに公民分館・防犯協会・福祉委員会設立50周年でもある。

○福祉委員会は、福祉事業の活動資金の中心となる賛助会費を募集中。3月15日の締め切りまで各自治会の役員の皆さんに募金活動へのご協力をお願いしたい。

4. その他連絡事項

○3月2日(日)に、大阪府池田土木事務所と協働で、府道吹田箕面線(千里体育館前から榎の木公園の交差点まで)の清掃活動を行う。

第11回 理事会 3月16日

1. 規約改正-別表(代議員・理事の対象団体)

○公職の立場にある東丘小学校、東丘保育所、第八中学校の協議会における位置づけについて、オブザーバー(議決には加わらず、助言等を行う)にすべきか等、意見交換した。今、結論を出すのではなく、今後、継続的に検討していくことになった。

2. 部会・委員会の主な活動状況

○まちづくり計画策定部会は、新設マンション(ジェイグラン)の開発担当者との面会し、協議会への参加をお誘いした。

○各部会・委員会の今年度の活動報告と来年度の事業計画の検討を進めている。

3. 近隣センター建替移転計画への対応

○「地区会館」(現在の「新千里東町会館」)については、現在の施設の価値の範囲で移転先の面積を配分することが想定されている。新たな「地区会館」の計画に地域のニーズを反映させるため、協議会が窓口となって対応していくことになった。

○「近隣センター移転計画対策委員会」を新たに設置する。メンバーは、協議会(交流室・東町会館・コミュニティルーム)の各運営委員会と環境委員会)、分館、福祉、防犯、新聞委員会、シニアクラブ連絡会、街角広場、3-3自治会、商店会、公募住民と決定した。

4. その他連絡事項

○東丘小学校が2015年度に50周年を迎える。東丘小PTAには担当部会が設けられた。
○来年度の協議会代議員・理事等の選任について、配布様式により届け出をお願いした。

第12回 理事会 4月13日

1. 規約改定について

○協議会規約改定案について説明がなされ、総会提示資料とすることを承認された。

2. 部会・委員会の主な活動状況

○まちづくり計画策定部会は、自治会加入率向上、新たな自治会の参加を期待して、クーポン券、会員カード、地域通貨について引き続き検討して行くこととなった。

乳幼児を持つ母親から応援を求めるニーズが強く、中には悲痛な声もあり、何とかしたいとの思いがあり、その事業を担当している福祉委員会と対応を相談している。

理事より本件は先延ばししてよい問題ではない、早急に具体化を検討すべきであるとの意見があった。

東丘版キャンドルロードの実施検討に関して、準備委員会の設置および大阪府と豊中市への補助金申請について決定した。

理事より、団体あるいは小学校に参加を強制

するやり方は慎むべきであるとの意見が表明された。

○防災部会は次年度も第4日曜日 10時半開催となった。

○環境委員会は、地域住民による公園整備の体制作り、雑木林整備を市と住民の協働作業化、安場池の親水公園としての整備など今後の重要課題について委員会での進捗状況を報告した。

また、次年度の活動計画として、自然保全目的の住民の会(仮称;グリーンアダプト)の組成、2回実施予定のまち歩きなどが報告されました。

なお、次年度から、アダプトロード清掃活動は環境委員会で担うこととなりました。

3. 近隣センター建替移転計画対策委員会のメンバー選任

○「近隣センター移転計画対策委員会」の設置および構成について前月理事会で決定しており、構成団体である協議会、分館、福祉、防犯、新聞委員会、シニアクラブ連絡会、街角広場、3-3自治会、商店会は、1名選任頂き、4月末までに協議会事務局に届け出願うこととした。

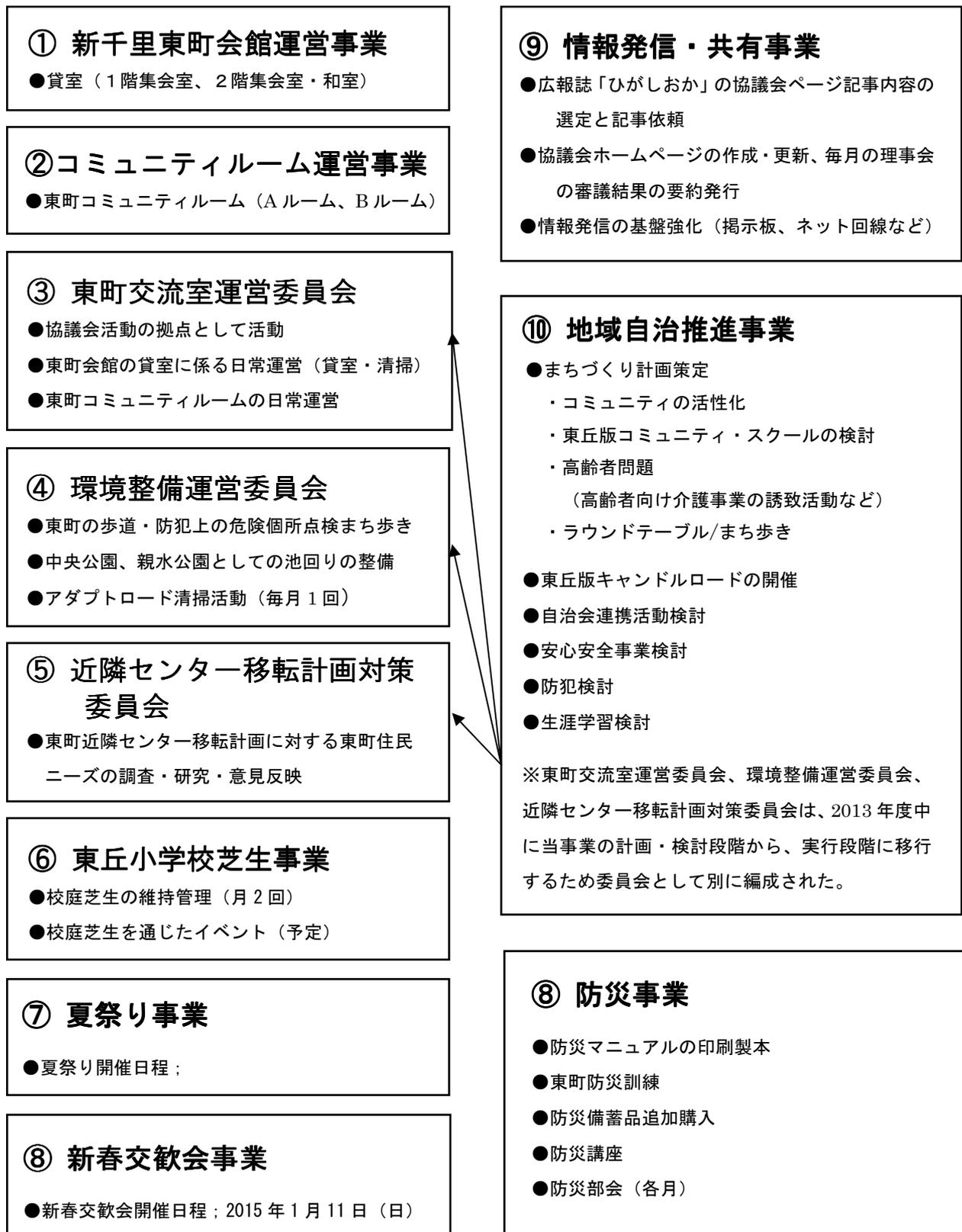
4. 総会開催に向けた提示資料及び開催要領

○総会提示資料についてそれぞれ説明があった。なお、決算報告・予算計画資料については、この理事会までに一部未確定の内容もあったので、後日、完成版を各理事に届け、確認頂くこととした。このことを含め、総会の開催全般について承認された。

2014 年度事業計画の骨子

新千里東町地域自治協議会は、東町が地域自治の目標として掲げるビジョン「住んでみたい、住んで良かった、これからも住み続けたい東町」を実現するため、地域内の住民と団体、更には、行政との連携を計り、以下の事業を実施する。

地域自治のビジョンと新千里東町地域自治協議会の周知に努めつつ、前年度からの事業を継承しつつ、変化する社会環境および住民のニーズに対応し、必要な事業を進める。



広報部会

新千里東町地域自治協議会の全体ビジョン「住んでみたい、住んで良かった、これからも住み続けたい東町」を求め、時代のニーズを鑑みさらに魅力あるまちをめざし、協議会のコミュニケーションの基盤として広報活動に部会は取り組んできた。

1. 2013 年度の活動実績

1 部会のミッション

- 協議会の「広報」について責任を持つ。
- 協議会の広報活動の企画、課題の整理、実行策を理事会に答申し、執行機関を支援する。

2 部会の体制

メンバー：赤井知之（部会長）、曾田邦道、寺村三郎、上田稔、倉垣孝夫、楠元俊平
事務局：柳原一之、玉富香代

3 部会の計画（2013 年度事業計画より）

- 広報誌「ひがしおか」の協議会ページ記事内容の選定と記事依頼
- 協議会ホームページの作成・更新、毎月の理事会の審議結果の要約発行
- 協議会ホームページの講習会（勉強会）
- インターネットの強化
 - ・個人名義から協議会名義への切換え
 - ・高速回線への切換え

4 部会の活動実績

2013 年度の主な活動

5 月	部会運営について討議
6 月	ホームページのリニューアル案と更新作業の進め方について討議
10 月	インターネット回線を移設し、名義を変更
3 月	次年度の活動計画・予算について討議
通年	・協議会ホームページの更新 ・広報誌「ひがしおか」への記事掲載（理事会 NEWS 等）

- 定例的な会合は持たず、必要に応じて集まることとし、日常的にはメールで情報共有・意見交換した。
- 協議会ホームページをリニューアルし、行事の案内や理事会の開催結果など、協議会の情報をタイムリーに発信した。また、問合せや意見等を受けるフォームを掲載し、1 件の投稿が寄せられた。
- 広報誌「ひがしおか」に毎号、理事会 NEWS をはじめ、各部会の活動内容を掲載するなど、協議会に関わる情報を丁寧に発信した。
- 東町交流室の開設に合わせ、東丘コミュニティルームのインターネット回線を移設し、協議会名義に変更した。

2. 2013 年度の決算

【支出の部】

広報誌「ひがしおか」分担金 337,600 円
（内訳）75～80 号 @53,300×6=319,800 円
名簿号 17,800 円

3. 2014 年度の事業計画

- 広報誌「ひがしおか」の協議会ページ記事内容の選定と記事依頼
- 協議会ホームページの作成・更新、毎月の理事会の審議結果の要約発行

4. 2014 年度の予算

会議費 コミュニティルームエアコン使用料 2 千円
広報費 広報誌「ひがしおか」 400 千円
「東町案内」分担金
事務費 部会資料印刷代 10 千円
計 412 千円

まちづくり計画策定部会 と 新設委員会

部会活動の目的

東町のビジョン実現のため、住民のニーズを掘り起こし、必要なまちづくり計画を策定して行く。

東町は集合住宅で構成され、中層住宅が、順次、高層化され防犯、防災面では比較的安心、安全と言われる。一方、東町に入居が始まって46年、新しい高層住宅に入居する新世代が再び増加しつつも、従来からの住民の高齢化は著しい。このような環境下で、個々人に活力があり、隣人に優しく、全ての住宅が魅力ある町として持続するため、課題を明確にし、まちづくりを進める。

1. 2013 年度の活動実績

部会の構成 (2014年3月現在)

部会長:小川浩一(OPH)、部会:和田圭司(ガーデンヒルズ)、小笠哲夫(ジオメゾン)、十河秀敏(東丘小学校)、和田園子(東丘小学校 PTA)、桑原茂樹(グランドメゾン)、下野周三(東町商店会)、太田博一(街角広場)、福岡正輝(UR)、清水博文(老人クラブ連絡会)、吉山妙子(東丘地区民生・児童委員会)
事務局:武藤正治、柳原一之、山田秀樹

活動報告

第1回まちづくり計画策定部会

・「地域作り計画策定部会」の名称を「まちづくり計画策定部会」に改める。

第2回まちづくり計画策定部会

・4分科会の役割を明示、課題に具体的に取り組む。
①高齢者問題対策分科会
②東丘版コミュニティスクール検討分科会
③拠点整備分科会
④環境整備分科会
準備として7月15日町歩きの実施を決める。

第3回まちづくり計画策定部会

①拠点整備分科会は、東町の住民の交流室につい

て若干

て若干の内部改装を行うことを決める。

②環境整備分科会は7月15日町歩きを実施。住民21名、豊中市職員6名参加。環境課題を共有。

第4回まちづくり計画策定部会

①拠点整備分科会

東町交流室運営委員会を設置して開設する。

②環境整備分科会

環境整備運営委員会の設置を決定。名称を「環境委員会」に改める。

第5回まちづくり計画策定部会

森部会長の転勤の後任として小川協議会会長の兼任を決める。小笠副部会長(ジオメゾン)を選任

①「拠点整備分科会」は「東町交流室運営委員会」として、また、「環境整備分科会」は「環境整備運営委員会」として別に組成され、「まちづくり計画策定部会」から抜けたので、「まちづくり計画策定部会」がこの後、取り組む課題を検討した。

②「近隣センター移転問題検討分科会」「コミュニティ活性化分科会」の設置を取り上げた。

第6回まちづくり計画策定部会

・コミュニティ活性化の具体策を検討。各自治会・管理組合に課題、問題の意見集約を依頼した。

第7回まちづくり計画策定部会

・コミュニティ活性化について各自治会・管理組合からの意見集約した回答について議論した。

第8回まちづくり計画策定部会

・「コミュニティの活性化」と「近隣センター移転」の問題は互いに密接に関係するので「まちづくり計画策定部会」で包括的に取り組むこととした。

第9回まちづくり計画策定部会

- ・2月20日、豊中市千里NT再生推進課、大阪府タウン財団の出席のもと、福祉委員会及び協議会事務局計8名が出席して、話し合いがおこなわれた。
- ・3月3日、株式会社ジェイアール西日本総合ビルサービスマンション管理部を交流室に招き管理組合設立の際には、新千里東町地域自治協議会への参加を要請した。

第10回まちづくり計画策定部会

- ・自治会へ参加するメリットとなる形の地域通貨について検討した。資金の裏付け、配布対象者の公平性などの課題を調査、検討する。協議会会員カード、クーポン券の発行と合わせ検討していく。
- ・「東丘版キャンドルロード開催に向けた準備委員会」の設置並びにメンバー編成、予算措置などについて、役員・事務局会議を経て、4月理事會に提案することとなった。

2. 2013年度の決算見込み

支出

- ・費用の支出はなかった。

3. 2014年度の事業計画

まちづくり計画策定部会の課題であった拠点整備、環境整備問題、近隣センター移転問題がそれぞれ委員会として別に活動することとなり、2014年度以降に継承するテーマは、「コミュニティの活性化」、「東丘版コミュニティスクールの検討」、高齢者向け介護事業の誘致を当面の課題とする「高齢者問題の検討」となる。

なお、これらの事業と並行して、協議会設立時の課題「地域づくり計画」の策定に取り組む。

4. 2014年度の予算

他市町村等の事例の調査・研究のための交通費実費などの発生を想定し、2万円の予算を計上する。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

部会から分離独立した委員会

東町のビジョン実現のため、検討・計画策定を旨とする当まちづくり計画策定部会から分離独立した委員会の内、2014年度以降、本格的に実践活動に入る委員会について紹介する。(環境委員会は別の報告書参照)

1. 東町交流室運営委員会

委員会の構成

委員長:高野光男、委員:小川浩一・清水千緋・杉本むつみ、事務局:武藤正治、柳原一之、山田秀樹

活動報告

2013年10月にオープンし、室内内装・情報機器等を整備、交流室スタッフを募集し、地域自治協議会の理念「住民の、住民による、住民のための組織」の基点となるよう実践してきた。

この間、少しずつではあるが、住民の皆さんが気軽に立ち寄り、住民同士の交流ができつつあるので、2014年度から、東町会館の管理運営などを含め本格的に活動する体制を整える。

2. 近隣センター移転計画対策委員会

委員会の構成

協議会(交流室・東町会館・コミュニティルームの各運営委員会及び環境委員会)、分館、福祉、防犯、新聞委員会、シニアクラブ連絡会、街角広場、3-3自治会、商店会、公募住民

活動計画

2014年度第1回理事会の後、本格的に活動予定

防災部会

1. 2013 年度活動報告

回	開催月日	内 容
第8回	5月26日	1)自己紹介 2)部会長・副部会長の選出
第9回	6月23日	1)昨年度(2012年度)活動報告 2)本年度(2013年度)活動計画 3)部会の日程とルール 4)桜ヶ丘住宅の防災の状況 5)市防災無線の運用と手順(危機管理室)
第10回	7月28日	1)前回部会内容の振り返り
第11回	9月22日	1)昨年度を含めた今までの経過と今年度の今後の見通しについて 2)1)について部会員全員で討議 3)10月からの計画決定 ・12月22日に防災訓練実施を決定
第12回	10月27日	1)防災避難訓練の目的・内容について ・東町においては、避難所開設の可能性は少ないが、経験として実施することは必要。 ・今回は防災関係者だけで実施する。 ・マンションごとに名簿を作成する。 *新聞「ひがしおか」11月1日号掲載原稿提出
第13回	11月24日	1)避難訓練実施要項検討 2)5つの係りの役割について話し合い 3)防災備蓄用品購入について
第14回	12月22日	☆防災避難訓練実施(参加者89名) ・各マンションから東丘小学校体育館までの経路について ・α化米の試食 ・危機管理室による講話と防災機材倉庫見学 ・参加者どうして、実施結果の話し合い *新聞「ひがしおか」1月1日号掲載原稿提出
第15回	1月26日	1)避難訓練 実施結果について ・マンション毎の報告 ・役割毎の報告 2)災害対策本部の組織イメージについて 3)防災備蓄用品の購入・納入・保管について
第16回	2月23日	1)防災備蓄用品の購入・納入・保管について 2)本年度部会活動報告について ・本年度の反省 3)次年度防災部会活動計画と予算案について
第17回	3月23日	1)総会準備の確認

* 適時、東丘ホームページへの部会報告掲載

* 部会の日程がアダプト道路清掃のすぐ後で、出席が大変だった。

2. 2013 年度決算報告

防災備蓄品購入：¥459,453-(別紙に購入リストあり)

避難訓練備品購入：¥13,177-(カイロ、レジ袋、水、模造紙)

3. 2014 年度活動計画

回	月 日	内 容
第18回	5月25日	1)自己紹介 2)部会長・副部会長の選出 3)前年度(2013年度)活動報告 4)本年度(2014年度)活動計画 5)部会の日程とルール
第19回	6月	本年度(2014年度)活動計画立案 ・本部班、情報班、物資班、救助救護班、避難誘導班の活動内容について ・備品点検について (年2回程度実施) ・防災避難訓練の取り組みについて ・その他
第20回	7月	
第21回	9月	
第22回	10月	*新聞「ひがしおか」11月1日号掲載原稿提出
第23回	11月	
第24回	12月	*新聞「ひがしおか」1月1日号掲載原稿提出
第25回	1月	
第26回	2月	1)本年度部会活動報告について 2)次年度防災部会活動計画と予算案について
第27回	3月	1)総会準備 2)本年度の反省 *新聞「ひがしおか」3月1日号掲載原稿提出

* 適時、東丘ホームページへの部会報告掲載

* 2014 年度も定例部会を第 4 日曜日 10:30 から開催します

4. 2014 年度予算

* 防災備蓄品追加購入 250,000(部会にて検討したうえで、各自治会とのバランスをじゅうぶんに考慮する。)

* 防災訓練のための備品購入 40,000

* 防災マニュアル印刷製本 (地域防災手引き (20 頁) の発行・全戸配布 @70*4,000 部 280,000)

* 講座講師謝礼 (@20,000*2 回=40,000)

* コミュニティルームエアコン (100*3h*10=3,000)

* 事務用品 (30,000)

(防災訓練は規模拡大を想定しています。)

防災備蓄品購入リスト(2013 年度)

品名	数量	購入年月日	購入費
即席おかゆ 50 食セット	5 ケース(250 食)	2014.1.20	87,815-
カセットコンロ	15 個	2014.2.3	29,700-
防災無線機	4 台	2014.1.29	160,250-
保存水 6 本入り	50 ケース(300 本)	2014.3.23	84,630-
台車	1 台	2014.1.16	5,795-
両手鍋 24cm	8 個	2014.3.22	11,460-
カードケース	9 個	2014.1.27	972-
梱包透明テープ	1 個	2014.1.27	99-
LED 懐中電灯	2 個	2014.3.23	3,108-
紙コップ(50 個入り)	4 セット	2014.3.23	536-
クレラップ	3 個	2014.3.23	432-
箸(100 膳入り)	2 セット	2014.3.23	330-
単 1 電池 4 本入り	1	2014.3.23	470-
単 4 電池 8 本入り	2	2014.3.23	394-
防災ラジオ	2 台	2014.3.23	4,998-
ビブス	50 着	2014.3.28	65,400-
収入印紙	無線機登録用	2014.3.31	2,900-
82 円切手	2 枚	2014.3.31	164-
合計			459,453-

環境整備運営委員会

1. 2013 年度活動報告

環境委員会の組成 2013 年 9 月 8 日
協議会規約第 33 条により「まちづくり計画策定部会」から分離独立して「環境整備運営委員会」が設置される。

委員会の趣旨

環境委員会は安全、安心に暮らしていける東町の「自然環境」「生活環境」の整備、維持、改善に積極的かつ継続的に取り組みます。環境問題については住民の間に様々な意見と利害があります。委員会では、丁寧に説明し、手順を踏んで真摯に問題の解決に取り組みます。行政との協働、要望の答申に付いては住民の意見を十分に汲み上げ議論をして結論を導き出します。

委員会の構成

委員長：和田園子（東丘小 PTA） 委員：山中真智子（メゾン千里）、村方健二（シティハウス）、小川浩一（OPH）、楠元竜平（桜ヶ丘）、福岡正輝（UR）、高山みほ（東丘保育園）、石丸誠子（女性防火）、寺村三郎（公民分館）、高野光男（福祉）、太田博一（街角広場）、事務局：武藤正治、柳原一之

2013 年度活動内容

第 1 回環境委員会（9 月 8 日）

- ①環境整備に関する公開説明会。出席 27 名
- ②喫緊の課題である環境整備 4 議案
 - (1) 紅葉橋通り桜ヶ丘付近の雑木林の整備
 - (2) あかしや橋下の横断処置の原状復帰
 - (3) テニスコ広場の夾竹桃の伐採とフェンスの新設
 - (4) 長谷池の藻の除去と清掃をまとめ理事会に答申。
- ③10 月 4 日 豊中市長に「新千里東町の環境改善について」小川協議会会長名で「環境改善 4 議案」の要望書を提出。公園みどり

推進課と意見交換を行う。

第 2 回環境委員会（10 月 14 日）

- ①豊中市へ要望した「環境改善 4 議案」の進捗状況の確認と調整
- ②危険木の処置と伐採
 - (1) 長谷池東側千里阪急ホテル寄りのポプラ 7 本を伐採する。(2) もみじ橋通りに傾き掛けている松 2 本を伐採する。なお、こぼれび通りのニセアカシヤの倒木リスクの診断と対処を豊中市に要望。

第 3 回環境委員会（11 月 10 日）

- ①11 月 8 日 豊中市公園みどり推進課と「環境改善 4 議案」の現地確認を行う。
- ②12 月 1 日 長谷池藻の除去と清掃を豊中市と東町住民参加の協働作業で実施。作業終了後残る「環境改善 3 議案」の具体的な作業日程の打ち合わせをおこなう。
- ③1 月 19 日 桜ヶ丘北側の大通り緑地帯のバリアフリー工事 2 カ所を確認一時工事中止とする。

第 4 回環境委員会（2 月 4 日）

- ①1 月 20 日、21 日桜ヶ丘 3 番館付近の南側雑木林の整備を終了。
- ②2 月 10 日～28 日あかしや橋下の横断処置の原状復帰工事を終了。スーパー青葉へ向かうアソカ幼稚園と医療センターの道路の車止め設置工事終了。
- ③2 月 17 日～18 日桜ヶ丘付近のもみじ橋通り側の雑木林の剪定と枯れ枝の除去を終了。
- ④2 月 18 日～24 日危険木の伐採を終了。
- ⑤桜ヶ丘北側の大通り緑地帯のバリアフリー工事 2 カ所は可能な限り原状復帰するよう豊中市に要望。
- ⑥2 月 6 日アダプト清掃に関し豊中市との意見交換に武藤、柳原が出席。アダプト清掃の業

務は来年度より、コミュニティールーム運営委員会から、環境委員会に移管する。

第5回環境委員会（3月5日）

- ①環境整備 4 議案（紅葉橋通り雑木林の整備、てによこ広場の整備、長谷池の藻の除去と清掃、アカシヤ橋下道路横断の対策）については順調に工事が進められ、完了した。
- ②医療センターから青葉側への自転車の飛び出し防止柵の設置工事は完了した。
- ③紅葉橋通りメゾン千里付近の急勾配の歩道に手すり設置工事が完了した。
- ④危険木（こぼれび通りのポプラ7本、もみじ橋通りの松2本）の撤去を完了した。
- ⑤3月19日市と住民の協働作業による紅葉橋通り雑木林の整備について豊中市公園みどり推進課と話し合う。

第6回環境委員会（4月1日）

- ①街角広場主催の筍まつりについて、筍は公共物であり、一部の住民が持ち帰ることは問題。一方、竹林の維持には成長の早い筍をその時期にある程度間引きの必要が有ること、また地域住民が自然の存在に関心を持ち、自然学習、環境維持活動を通じてコミュニティの再生に竹林が良い対象となるとの見解が市から示された。竹林の維持活動、体験学習の形で進めるが、この事を竹林に入る前に参加者へ説明する。
- ②地域住民による公園整備の体制作りについて、住民が雑木林や竹林に入るのは、安全上、技術上の問題がある。地域自治協議会が中心になって「自然保全の会」を育てる目的で、地域の有志を募って、竹や樹木の知識、整備の方法、残材の処理などを学び、経験を積んで活動できるようになることが望ましい。
2015年の春に向けて体制作りを進める。
- ③桜ヶ丘南側、東側周辺の雑木林の豊中市と東町住民との雑木林整備共同作業について、市は「混成林」の維持を方針とし、千里竹の会の「竹林」整備とは異なる。共同作業のステップとして「自然保全の会」を立ち上げ、2014年度は

実績作りにあて協働作業は行わない。なお、散策やゴミ拾いのため、住民が公園内の雑木林に立ち入ることは問題としないとの見解が示された。このことを環境委員会は周知する。

- ④安場池を親水公園として整備することについて過去に水死事故（檜の木池）があったので、人が池に近づける形にはしたくない。市がこの方針を転換するのは大変難しい。
現在は公園等の遊具の改修時期にあり、予算的にこの事業が優先される。安場池を親水公園にするには、大規模改修になり、市にその計画はない。
子どもや、車いすの人が池面を見られるよう伸びる一方の蘆などは丈を低く整備するよう要請していく。
- ⑦長谷池東側、ポプラ7本を伐採の後に平地が広がり、池に近づくと危険な状態になっている。防止対策を早急に講じるよう要請した。
- ⑨中央公園のあほんだら獅子の像付近は人目が届きにくく防犯上の不安を感じる。対策を要請したが回答を得ていない。

2. 2013年度決算報告

費用の支出はなかった。

3. 2014年度活動計画

- ①まち歩きを実施し、危険箇所や横断歩道の確認、防犯のポイント等の課題を洗い出す。
 - ・5月17日（土）10時～12時30分
主に東町公園と東町グランド周辺
 - ・6月14日（土）10時～12時30分
主に中央公園と箕面吹田線道路側からの雑木林周辺の整備を検討していく
- ②中央公園の整備、特に親水公園として池回りの整備を検討していく

4. 2014年度予算

まち歩きにおける事務消耗品、アダプト清掃時のお茶代等のため2万円計上する。

東丘小学校芝生委員会

第3回実行委員会（2014年2月12日）を開催した。

1. 規約の改定について

本委員会は、スタート時の独立委員会から、昨年4月、新千里東町地域自治協議会（以下、協議会と略す）内の委員会になりました。この位置づけの変更に伴う運用ルールの見直しとして、芝生委員会規約を改定します。その要点は次のとおりです。

- ・協力金：協議会は2013年度から協力金に資機材の代わりに現物支給（2万円相当）する
- ・委員：委員会には“公募に応じた住民”（協議会規約第34条）を含める
- ・来年度以降、協議会の本委員会担当理事を置く
- ・芝生会計が協議会の一般会計の中で管理されるため、本会計は本委員会の経費に限定する条文を追加
- ・委員会名称を「東丘小学校芝生委員会」に変更

*委員の公募について、規約第5条の規定にもとづき5月に公募手続きを行います。

第5条 実行委員会は、新千里東町地域自治協議会担当理事及び次の団体からの代表2名のほか、実行委員会の趣旨に賛同し、公募に応じた住民をもって構成する。

2. 今年度活動実績

(1) 芝刈り等作業実績

体協・アダプト団体やPTAはじめ地域の協力で、ほぼ予定通りに進めることができました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
除草	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1
芝刈り	—	—						—	—	—	—	—
肥料	40kg	40kg	40kg	20kg	20kg	40kg	—	—	—	—	—	—

(注) 冬芝の播種は実施しないことを決めました（第2回芝生化実行委員会）

(2) その他 報告事項

除草用具の準備、エアレーション実施、スプリンクラーヘッド交換、夏祭りに飲み物コーナーを出店、台風で資機材倉庫に被害、小学校芝生化に関して豊中市の担当窓口が決定（大阪府池田土木事務所に加え、豊中市の主担当「教育委員会教育総務室学校施設管理チーム」、副担当「環境部公園みどり推進課」（技術支援）が決定）

(3) 会計報告

単位 円

収入			支出			
	予算	実績		予算	実績	
前年度繰越金	144,187	144,187	資 材 費	肥料	39,900	20,250
団 体 協 力 金	小学校PTA	80,000		冬芝種	29,400	0
	地域3団体	80,000		目砂	30,225	0
	その他	10,000		資機材購入	20,000	7,430
事業収入（夏祭り）	10,000	14,121	修繕費	0	36,105	
募金・アルミ缶売却	25,000	28,521	ガソリン代その他	10,000	3,730	
雑収入	0	28	次年度繰越金	219,662	275,506	
合計	349,187	343,021	合計	349,187	343,021	

3. 来年度計画

(4) 維持管理作業(上期)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
除草	2	2	2	2	2	2
芝刈り	—	—				
肥料	—	40kg	40kg	40kg	40kg	40kg

第2日曜日前後・・・体協(4月～8月)・PTA(9月・10月)

第4日曜日にアダプト活動に合わせて、芝生委員会・地域団体とPTA

(5) 予算計画

単位 円

収入			支出				
		2013年実績	2014年予算			2013年実績	2014年予算
前年度繰越金		144,187	275,506	資 材 費	肥料	20,250	20,250
団 体 協 力 金	小学校PTA	80,000	80,000		冬芝種	0	0
	地域3団体	60,000	60,000		目砂	0	0
	その他	16,164	15,000		資機材購入	7,430	10,000
事業収入(夏祭り)		14,121	10,000	修繕費		36,105	50,000
募金・アルミ缶売却		28,521	25,000	ガソリン代その他		3,730	10,000
雑収入		28	0	次年度繰越金		275,506	375,256
合計		343,021	465,506	合計		343,021	465,506

① 収入

団体協力金を含めて2013年度とほぼ同額で予算化

② 支出

肥料・・・年間必要量 有機肥料 10袋(200kg 単価 約4千円)のうち5袋は自治協議会から現物支給

修繕費・・・設備も4年目に入りますので修繕費(50千円)を計上しておきます。

● 繰越金について(昨年報告通り)

現時点での収入・支出バランスを見ると、毎年80千円～100千円のプラスとなります。繰越金は、芝生関連の積立金として、機器・設備の更新に備えます。

機器・設備の更新には<参考>にあるような金額となるため、当面500千円を目標として積み立てたいと思います。(それまで団体協力金は同額での継続をお願いします。)

<参考> 機器・設備の更新価格(2012年見積り 単位 円)

機器名	単価	台数	機器名	単価	台数
エンジン式芝刈り機	95,200	2	肥料散布機	75,000	1
スプリンクラーヘッド	13,200	13	電磁弁ボックスセット	98,700	3
バルブボックスセット	26,400	3	減圧弁ボックスセット	94,800	1
散水コントローラ	98,700	2			

以上

コミュニティルーム運営委員会

1. 2013 年度活動報告

2014年2月6日に参加

①コミュニティルーム(以下C・R)運営

委員会会議開催

* 2012年5月7日:拠点づくりとC・R運営
委員会メンバー構成について討議

その後、まちづくり部会の主課題である拠点づくり分科会のメンバーとして森部会長、太田氏、山地氏、石丸氏、高野氏、寺村氏、福岡氏、武藤参加

(6月4日、6月13日、7月5日、7月25日)

* 2013年3月10日:規約の改訂、実務作業、費用の負担について協議

- ・地域自治協議会との関係
- ・委員の構成(協議会担当理事、公民分館、福祉委員会、防犯東町支部に新たに公募住民、こども教室に加わって貰う)

* 2013年4月6日:改訂規約案の検討

- ・実務作業を協議会交流室に移管(別途、協議会にて協議)
- ・アダプト清掃作業の中止
- ・セキュリティカードの管理業務の街角広場から交流室移管(別途、関係者協議)
- ・公募案内および利用案内の説明・広報

②アダプト清掃業務の活動

- ・福祉委員会担当で毎月第4日曜日実施(8月度は降雨で中止)
- ・参加者述べ370名、別に老人会が周辺の清掃を行った。ごみ袋57個
- ・アダプトシステム事業団体意見交換会

2. 2013 年度決算報告

今年度から費用は全て地域自治協議会で負担することになりました。

3. 2014 年度活動計画

- ・教室利用者の使用後の清掃の徹底を図る。
- ・Bルームの冷房機器の装備検討
- ・アダプト清掃業務を環境委員会に移管

4. 2014 年度予算

- ・今後の運営委員会の協議に基づき運用します。

新千里東町会館運営委員会

1. 2013 年度活動報告

- ・営業目的の貸室事業は前年比 87%。
- ・その他一般の貸室事業も同様前年比 87%。
- ・1階集会室エアコンが故障したので、更新した。同じく、外装塗装替えを実施した。
- ・会館の管理運営業務を協議会東町交流室に移管することを決定した。
- ・規則を改定した。(運営委員の構成等)

2. 2013 年度決算報告

(1) 収入

前期繰越金	4,843,213
会館使用料 (営業目的)	937,205
会館使用料 (団体・一般)	321,700
その他	1,748
合計	6,103,866

(2) 支出

水光熱費	346,242
管理人手当	373,600
エアコン更新、外装塗装	546,210
その他	156,893
次期繰越金	4,680,921
合計	6,103,866

*2012 年度繰越金 ; 4,306,469 円

3. 2014 年度活動計画

- ・会館の管理運営業務を協議会東町交流室に移管する一方、協議会が利用する場合は会館使用料を徴収しない。
- ・貸室事業拡大のため、実態も既にそうであり、半日単位の料金設定を時間単位に改める。
- ・会館運営の基盤となる営業目的の貸室の拡大に努める。掲示板等を利用し PR 活動を行う。
- ・利用頻度の低い和室の貸出しを促進するため料金を値下げする。
- ・利用し易さを考慮して、インターネットでの利用申し込み方式を検討する。

- ・2階大集会室及びトイレなどの内装が劣化しており、改良する。

4. 2014 年度予算

(1) 収入

前期繰越金	4,680,000
会館使用料	1,000,000
その他	1,000
合計	5,681,000

(2) 支出

水光熱費	360,000
管理人手当	376,000
備品更新と修繕費用	350,000
その他	166,000
次期繰越金	4,429,000
合計	5,681,000

夏祭り実行委員会

1. 2013 年度実施概要

- ・8月24日(日)約4千人の参加を得て盛況裡に開催することができた。
- ・天候不良のため、規模を縮小し、かつ東丘小学校体育館を借用し実施した。
- ・模擬店運営にテントのニーズがあり、小型4張りを購入した。
(なお、地域自治協議会はこの他に防災備蓄品兼用に、中型3張り、大型1張りを購入した)

2. 2013 年度収支報告

(1)収入の部

科目	予算額	決算額	備考
繰越金	1,115,000	1,115,000	
会費	571,000	557,800	200円×自治会員数
協賛金	100,000	105,000	企業等
雑収入	0	12,850	弁当売上他
売上金	600,000	493,200	模擬店収益
合計額	2,386,000	2,283,850	

(2)支出の部

	予算額	決算額	備考
謝礼金等	200,000	51,000	音響・舞台装置
旅費・交通費	3,000	0	
消耗品費	676,000	599,944	模擬店用物品、食材・抽選会景品
食糧費	215,000	158,275	弁当・お茶・ジュースなど
使用料・賃借料	100,000	118,706	模擬店機器レンタル
手数料	15,000	15,000	ごみ処理
委託料	130,000	120,525	配電設営・撤去
保険料	16,000	15,480	食中毒対策
義援金	0	1,850	
テント(4張り)	0	439,620	小型ワンタッチテント
夏祭り基金積立金	1,031,000	763,450	
合計額	2,386,000	2,283,850	

3. 2014 年度実行計画

- ・開催時期は8月23日(土)。
- ・雨天時の体育館借用について東丘小学校と協議する。
- ・雨天対策としてテント4張りを追加購入する。
- ・各自治会が前向きに参加する方策を検討する。(運営要員について自治会役員にこだわらない、それぞれの自治会の祭り好きの人などを集め、みんなで「祭り」を楽しむことを検討)

4. 2014 年度予算

- ・来年度の予算規模は本年度並みとして計画する。

新春交歓会実行委員会

1. 2013 年度実施概要

- ・1月5日(日)東町会館2階集会室にて開催し、参加者総数 106 名、盛況裡に実施できた。
- ・全参加団体の紹介がスムーズに行われた。
- ・新春を祝う和太鼓クラブ八鼓、東会による演技を屋外で実施し、参加者がゆっくり楽しむと同時に、協議会事業の近隣 住民へのアピール効果もあった。
- ・料理は適量もしくはやや少なめ、ピザが好評だった。飲み物は十分。

2. 2013 年度収支報告

(1)収入の部

参加者からの会費	106,000
協議会支出額	62,370
合計	168,370

(2)支出の部

飲食代	138,840
食器その他消耗品	29,530
合計	168,370

*当初、協議会支出分を含め 157,000 円の予算で計画

3. 2014 年度計画

- ・着席方式は好評だったが、参加者数は本年程度が限界。今後、増加策を講じて更なる効果を期待するのであれば検討課題。
- ・年始の第1週の日程は、実家帰省中のため参加出来ないケースがあり、また、近隣センターの店舗が休業中のため、準備に都合が悪かった。検討課題。

4. 来年度予算案

- ・来年度の予算規模は本年度並みとして計画する。

新千里東町地域自治協議会 2013年度(平成25年度)決算総括表

(2013年4月1日～2014年3月31日)

I 一般会計

＜収入の部＞

(単位:円)

科目	決算額	予算額	増減額	備考
負担金収入	278,900	285,000	△ 6,100	
自治会負担金	278,900	285,000	△ 6,100	各自治会から1世帯100円
事業収入	1,473,684	1,666,000	△ 192,316	
コミュニティルーム運営事業収入	0	80,000	△ 80,000	団体負担金
東丘小学校芝生化事業収入	198,834	205,000	△ 6,166	団体負担金
夏祭り盆踊り大会収入	1,168,850	1,271,000	△ 102,150	自治会負担金、協賛金、模擬店売上等
新春交歓会収入	106,000	110,000	△ 4,000	参加費
補助金収入	2,526,000	2,526,000	0	
市補助金	2,526,000	2,526,000	0	地域自治組織活動交付金
寄附金収入	0	1,000	△ 1,000	
寄附金収入	0	1,000	△ 1,000	
その他収入	24,791	26,000	△ 1,209	
受取利息	218	1,000	△ 782	預金利息
雑収入	24,573	25,000	△ 427	共同募金返戻金
当期収入合計(A)	4,303,375	4,504,000	△ 200,625	2013年度の収入額
前期繰越収支差額※	2,163,437	2,163,000	437	2012年度からの繰越金(明細は下表)
収入合計 (B)	6,466,812	6,667,000	△ 200,188	

※前期からの繰越金の明細(前期繰越収支差額)

(単位:円)

科目	決算額	予算額		備考
コミュニティルーム運営事業	12,207	12,000		事業の収支差額
芝生化事業	144,187	144,000		事業の収支差額
夏祭り盆踊り大会	1,115,000	1,115,000		事業の収支差額
地域自治推進事業等	892,043	892,000		自治会負担金の収支差額

＜支出の部＞

(単位:円)

科目	決算額	予算額	増減額	備考
管理費	236,670	156,000	80,670	
組織運営費	236,670	156,000	80,670	理事会等の会館使用料、事務用品
事業費	4,481,036	4,252,000	229,036	
コミュニティルーム運営事業	45,952	85,000	△ 39,048	コミュニティルーム維持管理、アダプト清掃
東丘小学校芝生化事業	67,515	130,000	△ 62,485	芝生の維持管理(芝生基金は下表参照)
夏祭り盆踊り大会	1,520,400	1,355,000	165,400	模擬店材料、テント等
新春交歓会	168,370	157,000	11,370	交流会
情報発信・共有事業	337,600	410,000	△ 72,400	新聞ひがしおか分担金
地域自治推進事業	1,935,040	1,509,000	426,040	交流室維持管理、テント等
防災事業	406,159	606,000	△ 199,841	防災資機材、備蓄品等
予備費	0	70,000	△ 70,000	
協議会予備費	0	70,000	△ 70,000	
当期支出合計(C)	4,717,706	4,478,000	239,706	2013年度の支出額
当期収支差額(A)－(C)	△ 414,331	26,000	△ 440,331	2013年度の収支差額
次期繰越収支差額(B－C)※	1,749,106	2,189,000	△ 439,894	2014年度への繰越金(明細は下表)

※次期への繰越金の明細(次期繰越収支差額内訳)

(単位:円)

科目	決算額	予算額	増減額	備考
コミュニティルーム運営事業	0	7,000	△ 7,000	事業の収支差額
東丘小学校芝生化事業	275,506	219,000	56,506	芝生基金の額(事業の収支差額を積)
夏祭り盆踊り大会	763,450	1,031,000	△ 267,550	事業の収支差額
地域自治推進事業	710,150	932,000	△ 221,850	事業の収支差額

II 東町会館管理運営特別会計

<収入の部>

(単位:円)

科目	決算額	予算額	増減額	備考
事業収入	1,258,905	1,320,000	△ 61,095	
東町会館運営事業収入	1,258,905	1,320,000	△ 61,095	会館の使用料
その他収入	1,748	1,000	748	
受取利息	1,748	1,000	748	
当期収入合計(A)	1,260,653	1,321,000	△ 60,347	2013年度の収入額
前期繰越収支差額	4,843,213	4,843,000		2012年度からの繰越金
収入合計 (B)	6,103,866	6,164,000	△ 60,347	

<支出の部>

(単位:円)

科目	決算額	予算額	増減額	備考
管理運営費	1,422,945	1,256,000	166,945	
東町会館管理運営費	1,422,945	1,256,000	166,945	人件費、清掃委託、修繕等
当期支出合計(C)	1,422,945	1,256,000	166,945	2013年度の支出額
当期収支差額(A)-(C)	△ 162,292	65,000	△ 227,292	2013年度の収支差額
次期繰越収支差額(B-C)	4,680,921	4,908,000	△ 227,292	2014年度への繰越金

上記のとおり会計報告いたします。

新千里東町地域自治協議会

会長

会計

会計

2014年(平成26年) 月 日、会計監査の結果、上記記述が正確かつ適正であることを報告いたします。

新千里東町地域自治協議会

監事

監事

新千里東町地域自治協議会 2014年度(平成26年度)予算総括表
(2014年4月1日～2015年3月31日)

I. 一般会計

＜収入の部＞

(単位:円)

科目	本年度予算額	前年度決算額	備考
負担金収入	279,000	278,900	
自治会負担金	279,000	278,900	各自治会から1世帯100円
事業収入	1,567,000	1,473,684	
東町交流室運営事業	3,000	0	貸室使用料
東丘小学校芝生事業収入	191,000	198,834	団体協力金、芝生募金等
夏祭り盆踊り大会収入	1,267,000	1,168,850	各自治会から1世帯200円、協賛金等
新春交歓会収入	106,000	106,000	参加費
補助金収入	2,548,000	2,526,000	
市補助金	2,548,000	2,526,000	地域自治組織活動交付金★
寄附金収入	1,000	0	
寄附金収入	1,000	0	
その他収入	25,000	24,791	
受取利息	1,000	218	預金利息
雑収入	24,000	24,573	共同募金還付
当期収入合計(A)	4,420,000	4,303,375	2014年度の収入額
前期繰越収支差額 ※	1,748,000	2,163,230	2013年度からの繰越金
収入合計 (B)	6,168,000	6,466,605	

※前期からの繰越金(前期繰越収支差額内訳)

(単位:円)

科目	本年度予算額	前年度決算額	備考
コミュニティルーム運営事業	0	12,000	事業の収支差額
東丘小学校芝生事業	275,000	144,187	芝生基金の積立額
夏祭り盆踊り大会	763,000	1,115,000	事業の収支差額
地域自治推進事業等	710,000	892,043	自治会負担金の収支差額

＜支出の部＞

(単位:円)

科目	本年度予算額	前年度決算額	備考 (★は市補助金対象事業)
管理費	242,000	236,670	
組織運営費	242,000	236,670	★理事会等の会館使用料、事務用品
事業費	3,967,000	4,481,036	
コミュニティルーム運営事業	10,000	45,952	コミュニティルーム清掃用具等
東町交流室運営事業	780,000	398,641	
東丘小学校芝生事業	90,000	67,515	資機材、肥料等(芝生基金は下表参照)
夏祭り盆踊り大会	1,244,000	1,520,400	模擬店材料、機器レンタル料等
新春交歓会	167,000	168,370	軽食、飲料等
情報発信・共有事業	410,000	337,600	★新聞ひがしおか分担金
地域自治推進事業	560,000	1,536,399	★交流室維持管理、環境まちあるき、アダプト清掃、東丘版キャンドルロード等
防災事業	706,000	406,159	★防災訓練、備蓄品、マニュアル等
予備費	30,000	0	
協議会予備費	30,000	0	
当期支出合計(C)	4,239,000	4,717,706	2014年度の支出額
当期収支差額(A)－(C)	181,000	△ 414,331	2014年度の収支差額

次期繰越収支差額予定額(B-C):	1,929,000	1,748,899	2015年度への繰越予定額(明細は下表)
-------------------	-----------	-----------	----------------------

※次期への繰越予定額の明細(次期繰越収支差額予定額内訳) (単位:円)

科目	本年度予算額	前年度決算額	備考
東丘小学校芝生事業	376,000	275,506	芝生基金への積立額
夏祭り盆踊り大会	786,000	763,450	事業の収支差額
地域自治推進事業等	693,000	639,077	自治会負担金の収支差額

Ⅱ. 東町会館管理運営特別会計

<収入の部> (単位:円)

科目	本年度予算額	前年度決算額	備考
事業収入	1,000,000	1,258,905	
東町会館運営事業収入	1,000,000	1,258,905	会館使用料
その他収入	1,000	1,748	
受取利息	1,000	1,748	預金利息
当期収入合計(A)	1,001,000	1,260,653	2014年度の収入額
前期繰越収支差額	4,680,000	4,843,213	2014年度の収支差額
収入合計 (B)	5,681,000	6,103,866	

<支出の部> (単位:円)

科目	本年度予算額	前年度決算額	備考
管理費	1,252,000	1,422,945	
東町会館管理費	1,252,000	1,422,945	東町会館の管理運営
当期支出合計(C)	1,252,000	1,422,945	2014年度の支出額
当期収支差額(A)-(C)	△ 251,000	△ 162,292	2014年度の収支差額
次期繰越収支差額予定額(B-C)	4,429,000	4,680,921	2015年度への繰越予定額